

全員協議会 会議録（要点筆記）

平成28年7月12日（火）

午後 1時30分 開会

午後 1時45分 閉会

場所： 全員協議会室

[報告案件]

1 衣浦臨海鉄道株式会社の経営状況について

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

質疑なし

2 半田市バイオマス産業都市構想の策定及び国への応募について

笠井厚伸市民経済部長：資料に基づき説明

中川健一議員：概略で結構ですが、事業の相当資格は大体いくらぐらいを考えているかということと、半田市税としてはその分いくらぐらいを考えているかを教えてください。

笠井厚伸市民経済部長：実は事業そのものは民間事業者が行うことになっておりまして具体的な事業の内容については、今後事業化をするにあたって基本計画、実施設計と行っていきますのでその中で確認をしていきたいと思っています。ですから今の段階ではいくらということは申し上げられません。

また半田市がいくら使うかということですが、基本的に事業実施については今申し上げたとおり民間事業者で行われますので、半田市として予定をしておりません。

中川健一議員：あともう一つですが、こちらの説明書の28ページの経済波及効果ですが、48億円の需要が生まれて、直接効果で43億円という説明があるのですが、この計画期間内というのは、この上段に書いてある10年間で合計48億円の需要が生まれて、例えば直接効果で43億円ぐらい生まれると、そんな理解でいいのでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：私もそのように考えております。

中川健一議員：例えばこの48億円や直接効果の43.3億円は、純粹のこの事業を行うことによって生まれるものなのか、過去にいろいろやっているものに波及させた数字、赤レンガみたいにいろんなもの込み込みの数字なのか、どちらでしょうか。

笠井厚伸市民経済部長：非常に難しい問題も含んでおりますが、基本的には今回こうして新たな投資が生まれるものですので、あまり多くまで波及をしていくということではないかと思っています。ですからどちらかといいますと実際に投資したものが新たに生み出す経済効果だと認識しております。

山本半治議員：先日、知多半島道路の民営化の計画の中で、この牛糞を活用したバイオマス発電事業を提案していたのですが、それとの関連性はどのようになっていますか。

笠井厚伸市民経済部長：先般、発表されました民営化の中で構想の一つとして市内

にバイオマス発電所を設置したいという構想があるというふうに私ども伺いましたが、まだ具体的な話を聞いておりません。仮にそれが実証に向けて動くこととなりますと、今回私どもがこの構想をしておりますが、この部分についての若干の修正が必要になってくるのではないかと考えております。現在、この構想をまとめる段階ではその話を具体的に聞いておりませんでしたので、それを踏まえてのものではありませんので、今後具体化してくれば今回のこの構想も一部修正を加える必要があらうかと考えております。